横浜市立 中川中学校　　令和　4　－　6　年度版　中期学校経営方針　（　令和　5　年度修正　）

学校教育目標	信頼と共感　～夢をもって挑戦し続ける生徒たち～ ◇育てたい生徒像◇　【知】自ら考え行動し、意欲的に学び続ける生徒 【徳】ルールやマナーを守り、人を思いやる優しい生徒 【体】心身をきたえ、たくましく生きる生徒 【公】役割を自ら求め、地域や社会に貢献する生徒 【開】共生・多様性を尊重し、未来を創る生徒

学校概要					
創立　77　周年	学校長　増田　友昭	副校長　志波　亮	3　学期制	一般学級：15	個別支援学級：2
児童生徒数：　567　人	主な関係校：　中川小学校、南山田小学校、牛久保小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
・得た知識を生かして、自ら考え判断し、行動する力 ・意欲をもって、主体的に学び続ける力 ・多様性を尊重して、共に生きようとする力

中川中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
中川中学校 中川小学校 南山田小学校 牛久保小学校	自分も他者も大切にしながら、豊かな学び合いができる子ども ・「よりよい人間関係を築くために必要な力」育成のためのキャリア教育の充実。 ・「自ら考え、判断と行動ができる力」や「主体的に学び続ける力」の検討と共有。それらを意識した研究授業の推進。 ・個に応じた指導体制づくりを進めるための、児童生徒指導や特別支援教育の情報交換と研修の推進。

中期取組目標
○生徒が主役となる学校づくりを進める中で、生徒の自尊感情を育てる教育環境を整え、「信頼と共感」を教育活動の根幹にします。 ○生徒が主体的に参加する、わかりやすい授業づくりを実践・推進します。 ○生徒が安心して学校生活を送ることができるように、ルールやマナーに関する規範意識を高め、生活指導の充実、人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを進めます。 ○小中一貫教育を推進する中学校区ブロックや地域・学校との連携を図り、生徒が地域で活躍し信頼される「地域の学校づくり」を進めます。

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	①目標や課題の提示では、生徒につけさせたい力を明確に提示し、生徒が学習に取り組むように工夫する。 ②誰もが意欲的に取り組める学習環境をつくるために、情報担当と協力して、ICT活用に取り組む。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①道徳年間計画は引き続き、見直しを続け特別な教科である道徳をより良い形で授業をできるようにする。 ②基本的な柱であるPay Forwardの考えを校外にも広げられるようにする。
担当	学習指導部道徳	
体	健やかな体	①身体計測・新体力テストの実践を通して自分の体や体力について知り、自らの健康の保持増進や体力の向上につなげる。 ②心身の健康の保持増進のために教育活動全体を通じて学習できるよう教科や特別活動との連携を図る。″
担当	保健指導部	
公開	特別活動	①「Pay　Forward」と「Greeting－Day」の二本柱を中心に、生徒の自主性の育成と活動の充実を図る。 ②生徒会本部と各委員会間の連携充実を図り、共同で取り組める活動の充実を図る。 ③Pay　Forwardの活動を校内および校外に向けて発信するための取り組みを深化させる。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①引き続き、いじめ防止対策委員会で情報を共有し、記録を取り、進捗を管理する。活動を生徒及び保護者に周知する。 ②いじめ防止や危機管理の研修を実施し、教職員の資質向上を図る。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンターチーム研修会や授業研修をより充実させ、経験の浅い職員だけでなく職員全体の教師力の向上を目指す。 ②会議の時間短縮をはじめ、効率よく業務を行えるよう、引き続き工夫する。
担当	教務部	
児童生徒指導		①教育相談のアンケートなどを活用し、相談活動の充実を図る。 ②Y-Pアセスメントの実施時期を工夫し、生徒の実態や変容を捉えられるようにする。 ③生徒指導の研修を実施し、教職員の資質が高められるよう、計画、運営を行う。
担当	生徒指導部	
特別支援教育		①共有フォルダーの活用をさらに深め、共通理解を得たうえで、生徒の支援を行う。 ②個々のニーズに対応できるよう、学年Coが中心となって、支援体制を検討していく。 ③支援体制の充実を図るため、教職員の研修を計画する。
担当	特別支援教育委員会	
地域連携		①引き続き、学校だよりや学校ホームページを通して、学校の様子を伝え、地域の理解と信頼を深めていく。 ②社会情勢を踏まえつつ、生徒が地域社会の一員として主体的に活躍できる場を建設的に調整する。
担当	渉外部	
学校運営協議会		①小中ブロックで運営協議会を持つことで、広く地域とのかかわりを持ち地域連携の充実を図る。 ②キャリア教育における、3年模擬面接のための面接官の協力を仰ぐ。 ③地域学校協働本部とともに活動することで、地域人材の発掘を行う。
担当	学校運営協議会事務局	